

資料③

平成28年度第1回社会教育委員会議

コミュニケーション・スクールの状況について
～昨年度社会教育委員会議での話題から～

○既存の学校評議員制度の評価について

- ・成果点と課題点について、市内小中学校から意見を寄せていただく

○コミュニケーション・スクールの事務局はどこが担っているのか？

- ・千葉県内指定校(全7校)のケース／他の自治体のケースから

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

成果

・違った視点での評価

- 課題が明らかになり、学校運営の改善を図ることができた。
- 違った視点での学校評価が受けられる。
- 多面的な視野から学校運営を見直す機会となった。
- 学校の取り組み・児童の様子を客観的に評価
- 意見が職員の励みとなる。
- 長い期間の学校の変化、児童・生徒の変容について伺える。

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

成果

・委員構成・人選
・会議日程、回数等
・意見を実際に生かすには

- 学校教育の良き理解者を増やすことができた
- 学校の取り組みについて、地域にもどつて広めていただけ。
- 学校の方針を地域に広めさせていただいた結果、多くの外部支援が得られるようになった。
- 学校運営の状況における地域住民や保護者との共通理解をはかることができた。
- 行事ごとに、児童生徒の成長した姿を見て感想をいただき、とても参考になつている。
- 課題に対してアドバイスを頂けた。
- 子どもたちの良さを知つて頂けた。

学外評議員制度について

市内小中学校の状況

成果

- ・違った視点での評価
- ・学校教育への理解が得られる
- ・地域とのつながりができる

- ・委員構成・人選
- ・会議日程、回数等
- ・意見を実際に生かすには

- ・今後検討を要する点

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

成 果

- 学校評議員から地域の状況を知ることができた。
- 地域の願いや期待を学校経営に反映。
- 保護者や地域との連携が深まり、学校行事や地域行事事が活性化。
- 地域の特徴や地域住民の学校に対する思いを知り、学校では見られない、地域での児童の姿が分かる。
- 保護者や地域から見た学校の課題を学校経営に生かす。
- キヤリア教育等、家庭や地域と連携した教育の展開
- 子ども110番の家等、評議員の方々に積極的に声をかけていただき、地域の協力を得やすくなつた。

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

成 果

- 「地域とともに歩む学校づくり」を推進するためには、「PTA会長」「元PTA会長」「自治会会长会長」「公民館長」「元校長」をメンバーとして、様々な角度からのご意見をいたくことができ、学校運営上で大変ありがたかった。
- 校長経験者に事例の相談ができる。
- 学校再編等、地域に関わる諸問題について、生の声を聞くことができた。

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

検討をする点

委員構成・人選

- 評議員の皆さんは多忙のため、日程調整が難しい。
- 働いている方が多く、生徒のいる時間帯に学校に来ていただくことが難しい。実態を見ていたく方がより効果的な話し合いができると感じます。
- コミュニケーション・スクールに発展させたためには、より授業などを見ていていただく回数や会議等を増やし、日頃の生徒の生活する姿を深く見ていただきが必要。
- 学校の良い点、問題点についてしっかりと理解している
- 学校の姿を見ていたくには、日常の姿を見ていたく必要がある。

コミュニケーション・スクールで継続・発展させていきたい視点

検討をする点

会議日程、回数等

- 地域とともに歩む学校づくり」を推進するためには、「PTA会長」「元PTA会長」「自治会会长会長」「公民館長」「元校長」をメンバーとして、様々な角度からのご意見をいたくことができ、学校運営上で大変ありがたかった。
- 校長経験者に事例の相談ができる。
- 学校再編等、地域に関わる諸問題について、生の声を聞くことができた。

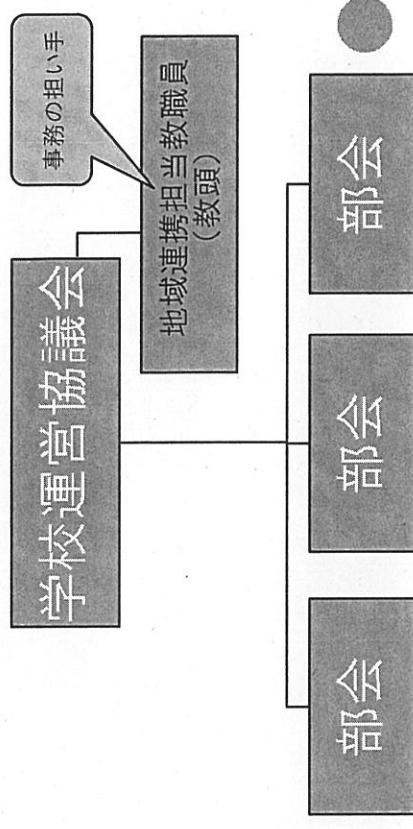
コミュニティ・スクールの運営方法

千葉県内指定校(7校)のケース

○意見をいたいても、経費がかかることはすぐには実行できないことがある。

○限られた機会の中で、学校の評価をすることは難しい。(評議員から)

○自分の考えが、家庭や地域の代表として適切なのが不安がある。(評議員から)



例)他の自治体で取り組まれているケース

